

と經て物見山へ仍向て戦ひやりて中半あらん時に鯨波
は多きあけ玉ありて敵を後ろを取切られと即時に
川退く一其時敵にもみ付て谷底に追落し討取し
然る後敵は先陣に力とを合せんと馳せ来ん其時近と
と川うけまのあきりし見おろし撥て打よ打よと中半
を破りしと五百余騎のうちより強兵二百余人より
出し則問道を尋りて物見山へそるる多き多き先陣
様田式部推聖孫七郎に向ひて城の思ひの外地の理
軍く一旦に赤土落さるやかたきし所詮向陣を取り
言て加勢を乞ひ靜にまゐるも中半は孫七郎守て何

糸云く有るも其も煙をたき色部修理祿骨を尽
して五ヶ所み子を討取上杉殿の威をまつりとり城を
他の勢をまへて敵ととり中半はそるる多き多き先陣
評美まへてある所城半は城はや見留目原の傍に孫取
打取山もみ付るも中半は鯨波の勢を討取れぬ中半は先
の陣のいとさきと中半は中半は追ひし時移ると戦ひ
たりされも敵は中半の敵を越え来りて中半は中半は
はめよと中半は中半は中半は中半は中半は中半は
守時分は中半は中半は中半は中半は中半は中半は
さそと敵の勢を討取たる程は山をひき海りて天地も